

主要事業

総社流自立予算の使い道

平成24年度の一般会計当初予算は、地域密着や子育て、社会的弱者などに関係する分野の予算に重きを置き編成しました。

■障がい者千人雇用

障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、福祉から就労への支援を行うための経費に1273万円。

■障害児施設通所費等支給

障がいのある子どもを支援する障害児施設通所費等支給事業に1億574万円。

■小児医療費

小学6年生修了まで医療機関での支払いを無料などにするための小児医療費に2億5000万円。

■太陽光発電システム設置補助(写真7)

環境にやさしい住宅用太陽光発電システムの設置補助金に1600万円。

■新規就農総合支援事業補助

新規就農する人に、経営が安定するまで最長5年間給付する補助金に1050万円。

■観光プロジェクト(写真2)

観光大学など「総社観光プロジェクト」の提言内容を実施するための経費に563万円。写真は昨年の観光大学。



■市道や橋などの整備(写真3)

身近な市道の改良や修理、橋の改築などに2億6476万円。

■清音神在本線改良事業(写真5)

清音神在本線の道路改良工事などの本格実施に係る経費に14億1073万円。

■準用河川改修

集中豪雨時の冠水解消、河川の流量確保、増水対策のための改修費に5823万円。

■消防署昭和出張所移転整備(写真4)

消防署昭和出張所の移転経費に1億8554万円。

■緊急通信指令施設(写真6)

消防本部通信指令台の老朽化に伴う更新整備費に1億5000万円。

■総社中学校校舎耐震化改築(写真1)

総社中学校校舎の耐震化を図るための建て替え経費に3億7471万円。

■総社西中学校校舎増築

生徒数増加に対応するための総社西中学校校舎増築工事費および備品などの購入費に2億6487万円。

■そうじゃ吉備路マラソン(写真9)

そうじゃ吉備路マラソンの大会運営経費やマラソンコースの公認認定に必要な経費に2000万円。

■久代分館移転新築整備

老朽化に伴う西公民館久代分館の移転新築整備費に106万円。

■旧吉備路郷土館改修

県から譲渡される吉備路郷土館を、収蔵や展示、ガイダンスなどの機能を併せもつ施設として活用するための改修費に755万円。

■市役所本庁舎耐震診断

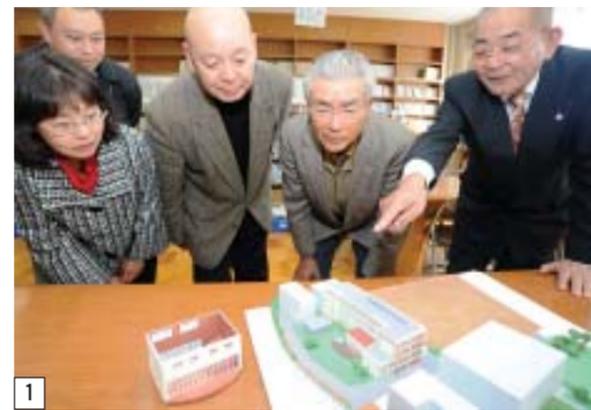
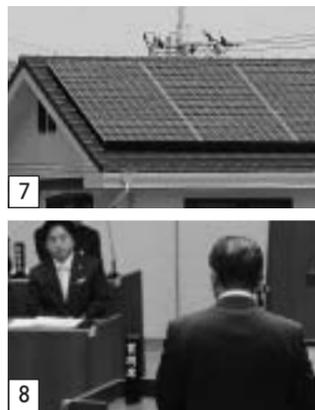
市役所本庁舎耐震診断を行うための経費に450万円。

■市役所本庁舎耐震補強計画等策定

市役所本庁舎の老朽化が著しいことから、耐震診断に基づく耐震補強計画などの策定に必要な経費に1030万円。

■議会改革(写真8)

アンケート調査、勉強会、講演会など議会改革の推進に必要な経費に133万円。



上で紹介したものの以外で、分野ごとに主要なものをご紹介します。

■子ども

中学3年生までの子どもに支給する児童手当に11億8214万円。子宮頸がん等ワクチン接種などの予防接種に6264万円。妊婦検診の一部の検査を除く費用の無料化や新生児の聴覚検査の経費などに6087万円。

■環境

ごみやし尿を処理する総社広域環境施設組合への負担金に6億8337万円。電気自動車購入の助成金に100万円。

■医療

日曜日や祝日、夜間の在宅当番医と日曜日の歯科当番医の運営委託に969万円。

■まちづくり

多文化共生に向け、国際交流の効果的推進を図るための経費に439万円。防犯灯の設置補助に300万円、カーブミラーやガード

■企業誘致

大規模な設備投資を行った場合や、工場や研究所などの新設・増設に対する補助金など、企業誘致を促進するための経費に2697万円。

■農業

小規模ため池の補強や整備などを行う経費に1701万円。県営ほ場整備事業で造成した農道の舗装を行う経費に1001万円。

■教育

学校力向上、学校適応などに取り組むため、各学校の課題に応じて教員を加配する経費に1億730万円。平成23年の台風12号により浸水した高梁川河川敷グラウンドを復旧し、段階的に芝を張っていく経費に7500万円。総社芸術祭開催準備の経費に150万円。

問い合わせ 財政課(☎8228)